

科目名 Course Name	家事支援技術Ⅱ Housework support technology II				ナンバリング No.	J4-004	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	阿部芳子						
連絡先(質問等)	授業時に示す						
必修/選択	必修						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と 到達目標	<p>自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。 生活支援としての身の回りの整理・洗濯・掃除・ゴミ捨て・衣類・寝具の衛生管理や裁縫などの基本的な生活運営がスムーズにできるよう知識と技術を体得し、利用者の状況に応じた介助ができるようにする。</p> <p>個別の生活リズムや個性を理解し、利用者ごとの家事支援のあり方を明確にし、利用者・家族・介護福祉士の連携のもとに家事の支援がスムーズに行えるよう実践力をつける。</p>						
授業の方法	<p>自立に向けた実習・実技と知識で、より家事支援技術の実践・応用力がつけられるように進める。 自身の生活の場の特徴などを確認しながら、利用者の状況を想定し、家事技術の即戦力となるよう授業を進める。</p>						
学習成果	L01	生活支援としての身の回りの家事の介助を学び、基礎的な支援ができる。					
	L02						
	L03	<p>利用者の状況に応じた、介助支援の領域を広げることができる。 家事支援の多領域にわたり、利用者の状況に寄り添った支援ができる。 利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにでき、実践の場で細かな支援に気づき、行動できる。</p>					
	L04						
課題に対する フィードバック	実習物やレポート等の提出は、速やかに講評し、今後役に立つようにする。						
教科書/ 参考図書	最新介護福祉養成講座 6 生活支援技術 I / 中央法規出版 授業時、プリント配布 参考書は随時紹介する						
履修上の留意点 やルール等	<p>●調査や提出物の期限提出 ●資格取得科目につき、積極的な授業参加であること ●事前・事後に費やすべき時間のめやすはおおむね各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	遅刻・欠席がなく、意欲的に授業参加できたか。	20			
レポート/作品	テーマに沿った内容を自ら調査、まとめ、期限内に提出されたか評価する。			50	
発表	内容が分かりやすく発表されたか、発表態度は適切であったか評価する。			30	
小テスト					
試験					
その他					
合 計		20		80	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 家事の意義、目的 自立に向けた家事の介護 衣生活の内容
	事前・事後学習	季節ごとの家事の状況確認、衣生活等の改善点、問題点など確認。
2	授業内容	自立に向けた家事の介護① 寝具・寝衣の種類 ・ 衛生管理
	事前・事後学習	保温性・吸湿性・快適性などの寝床環境をレポートにまとめる。(レポート)
3	授業内容	自立に向けた家事の介護② 衣生活と衣服 寝具素材 衣服材料と着心地を決めるもの
	事前・事後学習	繊維・布の種類、素材特性が、季節の寝床環境に影響することを確認する。
4	授業内容	自立に向けた家事の介護③ 洗濯の方法 ①衣服の汚れ落とし、シミの種類 (洗剤の種類) [演習]
	事前・事後学習	各種シミの洗濯法による汚れ落とし、水温、洗濯溶液濃度、洗剤の種類等を考える。
5	授業内容	自立に向けた家事の介護④ 洗濯の方法 ② 衣服のデザイン、構成別
	事前・事後学習	衣服の構造(織・編み)、複合素材・新素材の取り扱いなどを調べてみる。
6	授業内容	自立に向けた家事の介護⑤ 衣服の補修・保管
	事前・事後学習	収納方法・場所・保管場所の環境因子との関係を考える。
7	授業内容	自立に向けた家事の介護⑥ 障害者別、衣服のリホームの紹介と提案 [演習]
	事前・事後学習	上衣・着用衣服の障害者別リホームを考える。(頭含)
8	授業内容	自立に向けた家事の介護⑦ 障害者別、衣服のリホーム例 [演習]
	事前・事後学習	下衣・着用衣服の障害者別リホームを考える。(足含)
9	授業内容	自立に向けた家事の介護⑧ 掃除の仕方、高齢者の居室の掃除、注意事項
	事前・事後学習	住居構造と素材別、高齢者居室の掃除、注意事項
10	授業内容	自立に向けた家事の介護⑨ ごみ捨て、分別・エコライフ、QOL向上のための支援
	事前・事後学習	環境改善のための取り組みを、事前・事後に心がけること。
11	授業内容	自立に向けた家事の介護⑩ 快適生活のための室礼(季節を楽しむ支援) ①
	事前・事後学習	四季の生活は日常にあり、衣服生活や寝床生活をはじめ、居室での快適生活を色と素材の面から提案を考える。
12	授業内容	自立に向けた家事の介護⑪ 快適生活のための室礼(利用者とともに演出) ② [発表]
	事前・事後学習	素材や色・その他、快適な生活のための提案を考える。
13	授業内容	自立に向けた家事の介護⑫ 自立に向けた生活支援 衣生活の側面から
	事前・事後学習	利用者に寄り添った提案を考える。
14	授業内容	自立に向けた家事の介護⑬ 安眠を促す介護、QOL向上のための支援
	事前・事後学習	枕・補助具・寝衣の提案、香りのある素材の利用など。
15	授業内容	自立に向けた家事の介護⑭ まとめ:安眠のための介護や自立に向けた生活支援の発表
	事前・事後学習	総合的な観点から、利用者のQOL向上のための提案を復習する。